

わおん

第70号

2023年10月発行

秋号

〒370-0016
群馬県高崎市矢島町449-2
駒井病院 地域連携室

TEL 027(352)6100
FAX 027(352)6217

「わおん」とは、いくつもの違う音が重なり、ひとつの美しい音を作る“和音”。
連携もこうありたいとの願いです。

様々な患者様に柔軟に対応し、 高齢社会に求められる医療を提供します。

ポストアキュートや透析治療などを担う慢性期病院として

駒井病院は、高齢者医療や透析医療を中心に慢性期病院としての役割を担い、地域医療に貢献してきました。病棟は、療養病床71床、地域包括ケア病床29床があります。透析センターは48床の透析ベッドがあります。急性期病院にて肺炎などの感染症や心血管系、脳血管系疾患、骨折などに対する治療を行った後に自宅や施設への退院が困難となった方を積極的に受け入れています。中心静脈栄養や経管栄養も継続が可能です。透析については、入院継続が必要な方および外来透析可能な方のどちらも受け入れております。今後も近隣の急性期病院の後方支援としての役割を果たしていきたいと思っておりますので、ご相談・ご紹介いただけたらと思います。



透析センター

地域医療機関との連携を深め、様々な症状の患者様に対応

2022年救急告示病院の指定を受けました。自宅や施設から直接であったり、開業医の先生からのご紹介であったり、当院で対応可能と考えられる高齢者の救急受け入れも積極的に行うようになっております。主に地域包括ケア病床にて治療を行い、在宅復帰を目指します。

認知症、精神疾患への対応力も高く、対応の難しい方の受け入れも行っております。精神科医師による診察、治療を行っています。当院では病院の理念として身体拘束は基本的には行っておりません。

個々の病状に応じた対応で在宅復帰へ

当院で受け入れた方は様々な職種が積極的に介入していき在宅復帰できるように進めていきます。リハビリにて機能回復を進め、褥瘡や栄養などの各種委員会でも個々の病状に応じた対応を提案しています。長期的な治療の中でゆっくり回復して元気になっていく人も多く、そうした過程を見られるのは慢性期病院のいいところだと思っています。また残念ながら状態が悪化しお看取りになる方もあり、ご家族と十分に話しながら終末期医療を行っています。

今後も高齢者が安心して医療を受けられるよう職員一同努力を重ねていきたいと思っております。

院長 平松 範行
(内科・腎臓内科・人工透析内科)



略歴

1994年
富山医科薬科大学(現 富山大学)医学部医学科卒業
群馬大学第三内科入局
済生会前橋病院・前橋赤十字病院・公立藤岡総合病院・深谷赤十字病院・小諸厚生病院など関連病院勤務
2006年
群馬大学大学院医学系研究科修了 医学博士
2006～2008年
アメリカ国立衛生研究所(NIH)留学
2011年
駒井病院入職

専門分野

内科一般 透析 腎臓内科

認定資格

日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本透析医学会透析専門医
日本腎臓学会腎臓専門医

所属学会

日本内科学会 日本透析医学会 日本腎臓学会



事務長就任のご挨拶

令和5年7月より、新たな事務長が就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



事務長
むかいだ
向田 昌史

この度、令和5年7月1日付にて、みどり市の東邦病院から人事異動にて着任いたしました向田 昌史と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

このような重要な職務を頂きましたが、事務長職や併設する老健施設での仕事は初めてであります。新たな一步を踏み出すつもりで利用者様をはじめスタッフ、地域の皆様へ貢献できるよう微力ではございますが精励恪勤する所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当院は慢性期病院として高齢者医療や透析医療を中心に地域医療に貢献できるよう努めてまいりました。2015年には療養病床に加え地域包括ケア病床を開床し亜急性期病院としての機能も有しております。これからも、地域完結型医療を支える亜急性期・慢性期病院としての役割をしっかりと果たせるよう、医療介護連携の強化に努め地域、医療機関、介護施設の皆様から愛され信頼される病院であり続けるよう重ねて努めてまいりたいと存じます。引き続き皆様方からの特段のご理解ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 病院機能評価 5 回目の取得



日本医療機能
評価機構認定病院
第LL49-5号

駒井病院は、2023年2月21日、22日に、日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG:2.0機能種別「慢性期病院」を受審し、2023年6月2日に認定を受けました。2003年に1回目の認定を受け、5年毎に更新し、今回で5回目の認定となります。

コロナ禍の受審となりましたが、この機能評価を受審することにより、患者様中心の医療が提供できているか、良質な診療・看護が確実・安全に行われているか等のプロセスを振り返る良い機会となりました。

当院の特色でもある地域の高齢者医療、透析医療に取り組んでいることや介護施設や事業所との連携を十分アピールでき、また、職員全員が参加し、現場の課題を可視化、改善へ向けて取り組む事ができ、今回の更新認定に繋がったと思います。

今回、サーベイヤーから指摘・アドバイス頂いた事を評価結果と共に改善に向け取り組み、今後もより一層、患者様が安心して適切な医療を提供できるよう、努力を継続して参ります。



機能評価大委員会 委員長 深澤 智子(看護師)

のぞいて見よう 駒井病院



ふれあい看護体験を開催しました

ふれあい看護体験は看護協会が主催しており、病院で看護の体験をし、進路決定の参考にしてもらう機会として行われています。今回は、3校から計8名の参加がありました。

まず、白衣に着替えてもらうと、高校生たちの表情がキラキラと輝き、「憧れの白衣を着られて嬉しい！」と言って喜んでいる様子を見て私は高校生の頃を思い出しました。そして、透析センターを見学し、看護師のお仕事を体験してもらうため2グループに分かれて、血圧測定の体験や手洗い体験をしてもらいました。

最後には、担当者たちの看護師になるまでの道のりを話し、学生からの質問に答え、楽しい時間を過ごしました。みなさんの将来への第一歩の時間に立ち会えたことを嬉しく思います。

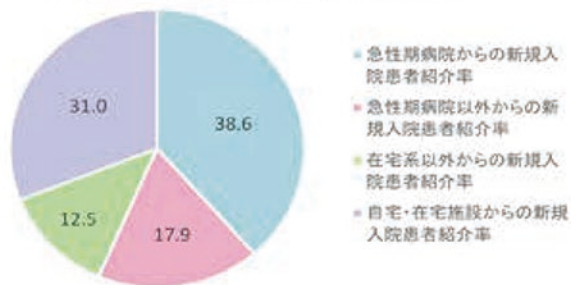
病棟1階 副主任 井田 絵里(看護師)



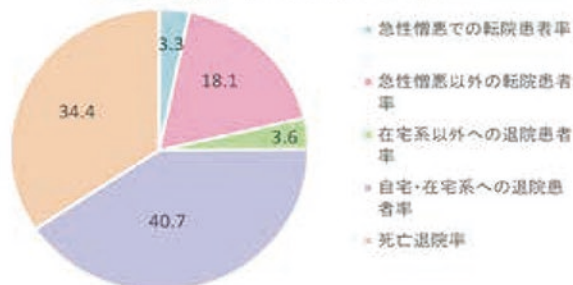
クリニカル・インディケーター

令和4年度のクリニカル・インディケーター(臨床指標)をご報告させていただきます。

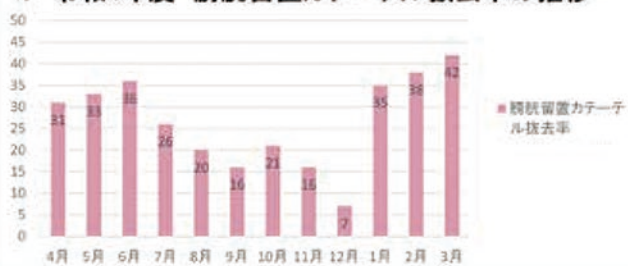
令和4年度 新規入院患者内訳



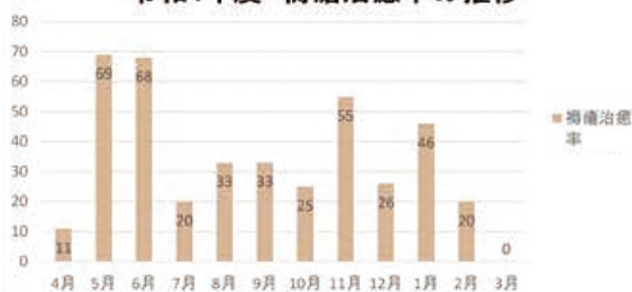
令和4年度 退院患者内訳



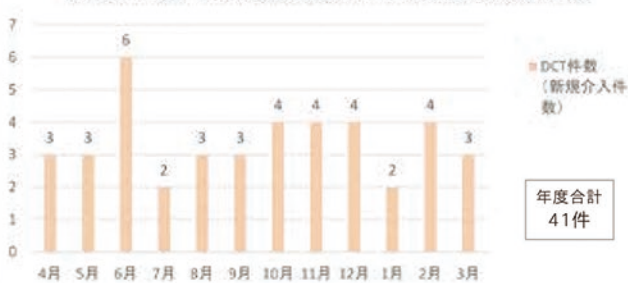
令和4年度 膀胱留置カテーテル抜去率の推移



令和4年度 褥瘡治癒率の推移



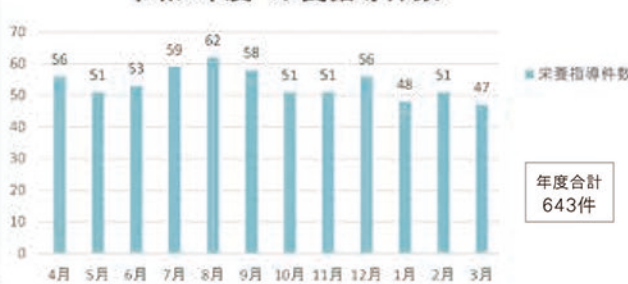
令和4年度 DCT(認知症ケアチーム)新規介入件数



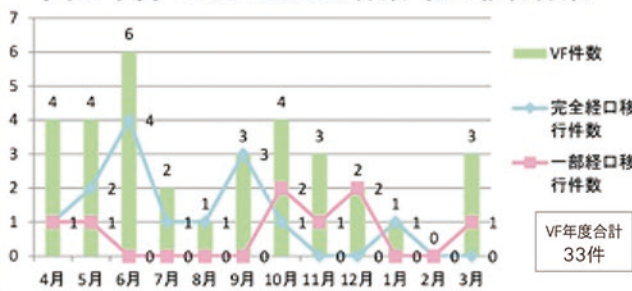
令和4年度 NST(栄養サポートチーム)介入件数



令和4年度 栄養指導件数



令和4年度 VF(嚥下造影検査)件数・経口移行件数



当院の臨床指標の枠組みは「看護・介護・医療安全」「地域連携」「当院の特性」とし、その中から地域連携に関する項目2項目、看護・介護に関する項目2項目、当院の特性と考えられる項目4項目の令和4年度分をご紹介します。今後も継続していくことで、当院の指標の経年変化を分析し、改善等を行い更なる医療の質の向上に努めてまいります。

担当 岡部 洋子(看護師)

地域連携室からのお知らせ

2022年度 苦情要望のご報告

ご入院中の患者様やご家族様等よりお寄せいただいたご意見・ご要望を、院内に設置の意見箱にて回収しています。

■現場の対応	2件
■事務関係	1件
■その他	1件
合計	4件

<ご意見の一例>

- ・業者洗濯から返ってきた衣類がしわくちゃだった
- ・着替え中に衣類を破かれた
- ・外来の受診時、待ち時間が長いが声掛け等がない

回収したご意見については、苦情要望対応会議で検討させていただき、回答の掲示を行っています。まだまだ課題が抽出しきれていない部分がありますので、その窓口を明確化し、様々なご意見を聴取してまいりたいと思います。

2022年度 相談支援に関する件数

地域連携室の業務の一つに相談支援があげられます。患者様やご家族様から電話や、直接面談を通して様々な相談に対応しております。こちらから今後についての相談や本人の意思をお伝えすることもあり、相談の内容は多岐に渡ります。2022年度の相談件数を、相談内容別にまとめてご報告させていただきます。

2022年度 相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
社会福祉相談(経済的問題)	2	3	1	0	1	2	0	2	0	4	3	2	20
社会福祉相談(福祉制度について)	2	1	3	1	2	3	1	1	1	2	0	4	21
退院相談(家屋調査、面談)	25	23	21	21	17	16	17	23	20	23	13	17	236
苦情相談	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	2	6
看護相談(退院後のケア、CF)	6	6	2	14	7	2	7	8	1	5	4	0	62
その他医療相談	1	12	3	1	6	3	15	12	1	1	24	1	80
その他	2	2	13	9	7	4	1	0	0	4	0	3	45
入院相談	49	31	44	41	25	31	35	41	34	51	36	51	469

年合計 939

地域連携室では、入院・転院のご相談はもちろん、介護施設入所・各種制度ご利用などのご相談にもお乗りしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。



地域連携室直通番号

☎ 027-352-6100

メールでのお問い合わせ ▶ renkei@komai-hp.com

代表電話
よりも早い!



■基本理念

やさしさに出会う医療を
やすらぎに出会う医療を
そして
生きがいに出会う医療を

■基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳を大切にし、患者様の立場に立った、信頼を得る医療を提供します。
2. 私たちは、高齢者医療専門機関として、誠実で安心な医療・看護・介護サービスを実践します。
3. 私たちは、社会人としての倫理観を持ち、医療の質向上のため研鑽を積み、地域や組織に貢献します。
4. 私たちは、地域の人々の支えとなる慢性期医療機関としての役割を実践し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。